

CNALレポート・ジャパン

Conferencing industry News report, research & Analysis - CNA Report Japan

創刊：1999年12月

発行日：毎月15日・月末

取材・編集・発行：橋本啓介

テレビ会議・ウェブ会議・電話会議システム専門 定期レポート

Vol. 15 No.9 2013年5月15日号

編集:editor@cna.jp 広告:pr@cna.jp 読者登録:<http://cna.jp>

Copyright 2013 CNA Report Japan. All rights reserved.

製品・サービス動向-国内

ソニー、1080pで60フレーム/秒に対応したHDビデオ会議システムを発売

ソニー株式会社(東京都品川区)は、HDビデオ会議システムとして、1080pで60フレーム/秒やMCU機能に対応したモデル「PCS-XG100S」と、最大720pに対応したモデル「PCS-XG77S」の2機種を発表した。発売は5月から。(発表4月23日、取材:5月7日)



PCS-XG100S - 約370×55.7×244mm(突起部含まず) 約2.3kg (PCS-XG77Sも本体はほぼ同じ)
(ソニー資料)

今回の発表によりソニーのビデオ会議システム製品はPCS-XG100Sを頂点に8モデルラインナップとなった。なお、この新モデル2機種は、コーデック単体販売・カメラ別売としてユーザが使用ニーズにあわせて選択できるようにした。末尾の“S”はコーデック単体提供を意味する。

ソニーとしては、2008年に、PCS-XG80/PCS-XG55を発表して以来、XAシリーズ(2モデル)やXLシリーズ(1モデル)、PCS-G60(SDモデル)を順次発表し、ラインナップの強化を図ってきた。

PCS-XG100S/PCS-XG77Sは、PCS-XG80/PCS-XG55の“親子”関係と同じで、従来のXGシリーズやXAシリーズなどで提供されてきた基本性能・機能、たとえば、H.264ハイプロファイル、ユーザーインターフェイス、RFリモコン、ビデオアノテーション(ペンタブレット対応)、インテリジェントQoS、ストリーミング、デュアルネットワーク、ISDN、キオスク

モードなどを踏襲しつつ、最新の性能と機能としてユーザからの要望を盛り込み、ローコストで導入しやすい製品に仕上げた。

「これまで、性能や機能の向上については、主にソフトウェアアップグレードで対応してきたが、今回5年ぶりに新しいハードウェアプラットフォームを採用した。文教での遠隔講義や、製造業での精密な確認を要する遠隔地との会議、医療分野での医療機関連携、教育、研修、指導といった用途に最適だ。」(ソニー)

今回の新製品の長所は多岐に渡るが、従来機種との違いに注目して主なものを見てみる。

(1)1080p60フレーム/秒に対応(PCS-XG100Sのみ):これまで1080pに対応したPCS-XG80のみだったが、フレームレートについては、30フレーム/秒であった。今回、PCS-XG100Sでその倍の60フレーム/秒に対応することで、さらに滑らかで繊細な映像の送受信が可能になった。

(2)H.264ハイプロファイルを搭載:PCS-XG80以降搭載されている映像コーデック。従来比1/2の帯域でHD通信を実現する。

(3)最大9地点によるHD多地点接続に対応(PCS-XG100Sのみ):8月末に発売予定のオプションのソフトウェアを購入すると、本機が親機となり、1台の親機で自拠点を含め最大9拠点(PCS-XG80では6拠点)における多地点接続が行える。さらに、2台の親機をIPネットワーク上で接続することで最大16拠点接続(PCS-XG80では10拠点)も可能となっている。

なお、このオプションは、6拠点までの接続を可能とする「PCSA-MGC106」と、9拠点までの接続を可能とする「PCSA-MGC109」の2モデルを予定している。

(4)HD画質での録画機能対応:USBメモリに720p映像と音声をMPEG4フォーマットで記録できる(これまではCIF解

像度のみ)。USBメモリをPCS-XG100S/PCS-XG77S本体前面に差し込み記録し、USBメモリ本体に保存。再生はパソコンで行える。

加えて、このUSBメモリは、現在販売されている機種と同様に、アドレス帳やバージョンアップ用にも使えるようになっている。

(5)デュアルストリーム(H.239)が1080p30フレーム/秒に対応(PCS-XG100Sのみ): HD映像とPC画面等の両方の映像を最大1080/30pの解像度でのデュアルストリームが可能となった。ちなみに、PCS-XG80では、HD映像(720/30p)と、H.239によるXGA/30fpsによる送受信となっている。

(6)カメラは、ソニー独自のExmor CMOSイメージセンサーを採用: 同時発売のビデオ会議専用カメラ「PCSA-CXG100(1080p/30p)」(下写真)は、Exmor CMOSイメージセンサーをPCSシリーズで初めて搭載。PCS-XG100S/PCS-XG77S両機種に推奨製品。



加えて、光学20倍ズームも実現(これまででは10倍)。遠くの小さい被写体も大きくはっきりとズームアップすることができるようになった。また、たとえば、

PCS-XG80用のカメラと比べ、被写体の輪郭はよりシャープにくっきりと表示するとともに、色の再現性も向上した。大きな会議室など天吊りなどにも対応している。

「とりわけ遠隔講義や医療などでは、被写体をクリアに表示させたり、現実の色と同じように画面上で再現させたりするということはとても重要になってくる。当社のHDビデオ会議システムは、そういった要望に適していると考えている。この部分は、ソニーの映像へのこだわりを見せたところでも

あり、その品質を是非一度体感していただきたい。」(ソニー)

(7)HDMI入力端子を搭載(PCS-XG100Sのみ):これまでのXGシリーズとXAシリーズは、HDMI出力のみに対応していたが、今回、PCS-XG100Sで初めてHDMI入力に対応した。一方、PCS-XG77SはHDMI入力には対応していないが、DVI-I端子にアダプタを付ければHDMIケーブルによる接続も可能だ。

端子追加を反映して、PCS-XG100S/PCS-XG77Sの本体は、従来機種と比べ、幅については、90mm強増えが大きくなった。ただし、奥行きや高さは同じもしくはほとんど変わっていない。

「業界では、コーデック本体の小型化が最近のトレンドのひとつになっている。他社から最近発表される新製品では、入力端子をシンプルにすることで小型化しているが、当社の新製品では、それらとは逆にユーザの要望に柔軟に対応すべく入出力端子の充実を優先したため若干本体が大きくなった。」(ソニー)

(8)3モニター(相手・自分・PC)出力機能を搭載(PCS-XG100Sのみ):従来機種では2モニターまでだったが、今回初めて、3台のモニターに相手・自分・PCの3画面を同時に表示できるようになった。出力端子はHDMIが2個、DVI-Iが1個搭載されている。

(9)シングルモニター設定時に3画面(相手・自分・PC)表示が可能:ひとつの画面でビデオ会議を行っている際に、モニター画面上に、相手・自分・PCの3つのウィンドウを表示させることができる。

(10)最大6個の「PCS-A1マイクロフォンを接続可能(ステレオ音声対応):PCS-XG100S/PCS-XG77S両機種とも、物理的なミニジャックの接続口を使い、PCS-A1を6個まで追加することができる(PCS-A1マイクを追加する場合はオプション)。大きな会議室でも外部ミキサーを使わずに会議を行える。

(11)迅速な起動:従来機種と比べ、PCS-XG100S/PCS-XG77Sは電源をONしてから初期画面までの起動時間を従来のXシリーズに比べ半分以上短縮した。ソニーによる

と、要望の多いひとつだという。

以上が主な点だが、最後に、PCS-XG100S/PCS-XG77S の価格(メーカー希望小売価格、税抜き)について。PCS-XG100S が 110 万円、PCS-XG77S は、456,000 円となっている。一方、多地点機能を提供するオプションについては、「PCSA-MGC106」が 40 万円、「PCSA-MCG109」は 60 万円となっている。その他オプションには、カメラ、マイク、ISDN インターフェイスユニットなどがある。国内販売は、ソニービジネスソリューション株式会社(東京都品川区)から。

ソニーでは、東京ビッグサイトで開催される「第 4 回教育 IT ソリューション EXPO(5 月 15 日～17 日)」に出展する予定。同社によると、今回発表された PCS-XG100S/PCS-XG77S を前面に打ち出して展示するという。会場では PCS-XG100S/PCS-XG77S を体感できるデモなどが行われるようだ。

ゼネテック、グローバルコミュニケーションシステム「GCgate シリーズ」発表、第一弾としてクラウド型 Web 会議システム「GCmeeting」提供開始

株式会社ゼネテック(東京都新宿区)は、グローバルコミュニケーションシステム「GCgate シリーズ」を発表。シリーズ第一弾として、Web 会議システム「GCmeeting」を 4 月 8 日より提供開始。(4 月 8 日)

Gcgate シリーズは、国立情報学研究所(東京都千代田区)が開発した「WebELS」をベースに、産学共同で商用化開発したシステムで、今回発表された GCmeeting と、「GClearning」で構成される。(補足:GClearning については、同社のウェブサイトによると 2014 年提供開始の予定となっている。)

WebELS は、既に数多くの国際機関・研究機関・大学での利用実績がある。今回の商用化にあたっては、ビジネス用途を想定したさまざまな利用シーンへの対応を実現しているという。

GCmeeting の特長は以下の通り。

(1)資料共有時のセキュリティ対応としての独自の「ファイル保護技術(特許申請中)」。

(2)低帯域など不安定な通信環境に対応した独自の「ドキュメント制御技術」。たとえば、100～200kbps 程度のネットワーク環境でも、3～4 名が音声・映像・ドキュメントを使用した会議が可能という。共有資料は会議参加時に参加者 PC のキャッシュに格納され、プレゼンターからの書き込みやページめくりは制御信号のみで処理される仕組み。

(3)Windows だけでなく、Mac にも対応。スマートフォンやタブレットについては、近日対応予定。

(4)日本語、英語、中国語の 3 カ国語に対応。なお、英語、中国語については、6 月よりサービスイン予定。

(5)利用形態に柔軟に対応する価格体系。会議室の大きさとユーザ ID 発行数の組合せで価格は決まる形。会議室は同時に会議参加できる人数により 5 パターンから選択(複数選択も可能)する。また、会議参加者数(ID 数)は、ユーザの利用形態により 2～無制限で設定ができる。

一方、GCmeeting の主な機能は以下の通り。

(1)「プレゼンテーション機能」:会議参加者は誰でもプレゼンターになれる。参加者は自由にドキュメントのページ送りや書き込みなどの操作が行える。

(2)「資料作成機能」:MS Office、PDF、JPEG、MPEG などさまざまなファイル形式を会議資料として共有できる。あらかじめ各ページにタイトルを付与することも可能。

(3)「アノテーション機能」:プレゼンターは、描画ツールを使って資料に書き込みができる。

(4)「ホワイトボード機能」:参加者は誰でもホワイトボードに資料、画像ファイルなどの貼り付けと書き込みができる。

(5)「ズーム機能」:表示サイズの微細な会議資料であっても、10 段階のズーム機能により拡大表示に対応している。

(6)「画面サイズ選択機能」:会議の場所や参加者人数、使用するデバイスに合わせて、画面を「小画面会議」あるいは「大画面会議」に切り替えることができる。

GCmeeting の利用料金については、月額 25,000 円(税別、3 名会議時)からとなっている。

同社によると、販売開始後 3 年間で、国内においては 1,500 契約、また、海外においては 1,000 契約を目指す。

エイネット FreshVoice にマルチメディア機能を搭載：オーサリングやコンテンツ管理機能を搭載

エイネット株式会社(東京都千代田区)は、テレビ会議/Web 会議システム「Fresh Voice シリーズ」に、マルチメディア機能を付加する機能拡張パッケージ「FreshVoice CMS & Live」を 2013 年 5 月 1 日に発売すると発表。(4 月 11 日)

FreshVoice CMS & Live は、FreshVoice での参加者間の情報共有をいままで以上にスムーズにし、より充実した会議の開催を可能とするもの。「CMS & Live 標準版」と「CMS & Live Pro」の 2 種類を提供する。

機能名	CMS & Live 標準版	CMS & Live Pro
ドキュメントアップロード*	○	○
動画アップロード*	○	○
ライブ受信	○	○
オーサリング(レイアウト)	×	○
ライブ送信	×	○
利用帯域	ベストエフォート	同時利用帯域 5mbps
ストレージ容量	1GB	3GB
入力ビデオフォーマット	wmv avi mpg mov mp4 flv f4v	

(エイネット資料)

CMS & Live 標準版は、セミナーやプレゼンテーション用に作成したビデオ等を FreshVoice での会議用資料として活用するためのもの。

ユーザが、コンテンツアップロード用のホームページ「Channel」から専用のビデオサーバーに、映像素材をアップロードするだけで、FreshVoice 上でのビデオ共有が可能になる。

また、アップロードした素材は、コンテンツマネージメント機能によって、専用のファイルマネージャーで一元管理さ

れる。これにより、ファイルの種類を意識することなく、いつでも自由に取り出して利用することができる。

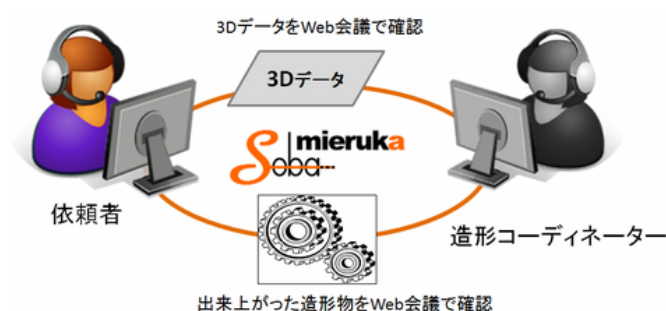
一方、上位製品である CMS & Live Pro は、単にビデオ映像を共有できるだけでなく、メディアボード(デザイン可能なスクリーン)上に映像と各種のアプリケーションデータを自由にレイアウトして、背景や装飾等をつけたスタイリッシュなプロジェクトを簡単に作成することができる。

パワーポイントや PDF のデータとセミナー映像をひとつの画面に配置し、講師の説明に合わせて、ページをめくっていくことなどが簡単にインタラクティブに行えるようにする。

エイネットのテレビ会議/Web 会議システムは、2003 年に最初の製品を発売して以来、2700 社以上の企業や教育機関で利用されている。音声の遅延をそれまでの 4 分の 1 に抑えた GIP エンジンの採用や、ソフトウェアタイプとしては世界で初めて H.264SVC によるフル HD 化を実現しているという。

SOBA プロジェクトとアリエル、Web 会議で 3D 図面を確認・受注できる「3D プリンター造形サービス」を開始

株式会社 SOBA プロジェクト(京都市下京区)は、Web ソリューション事業を行う株式会社アリエル(東京都渋谷区)と共同で、「3D プリンター造形サービス」を 4 月 25 日から開始。(4 月 22 日)



3D プリンター造形サービス (SOBA プロジェクト 資料)

3D プリンター造形サービスは、最近注目を浴びている 3D プリンターでの造形物製作を受注する際に、Web 会議で 3D データや出来上がった物を確認しながら、造形物を制作するサービス。Web 会議は、3D データ等アプリケーション共有が

可能な SOBA プロジェクトの「SOBA mieruka(ソーバ・ミエルカ)」で行う。

Subject	SOBA 会員	その他	備考
初回登録料	¥2,000	¥10,000	※日本人のみのお申込みになります。
申込基本料	¥10,000	¥10,000	1データファイルの申し込み毎
3D データ取送料 (STL, VRML, PLY, 3DS, ZPR)	¥10,000	¥15,000	1ファイル単位(※254×381×203mm を超える場合は、分割造形となります。)
造形金額の目安	¥100/g～	¥115/g～	カラー品質/造形物の要求精度/元データの形式・精度等によって変動します。

※SOBA会員…SOBA mieruka などSOBAプロジェクトのWeb会議をご契約中の方。

価格表 (SOBA プロジェクト 資料)

サンプル① スニーカー 会員¥30,000~/他¥35,000～	サンプル② フィギュア 会員¥50,000~/他¥60,000～	サンプル③ 小物 会員¥5,000~/他¥6,000～
		

参考例 (SOBA プロジェクト 資料)

本サービスは、アリエル社のウェブサイトから申込を行った後、顧客とアリエル社の造形コーディネーターが、Web 会議上で 3D データの修正確認し、造形作業に入る。

そして、造形物が出来上がれば、Web 会議上で造形物をカメラ映像で見ながら、変更や修正点を確認する。

完成した造形物は郵送し、造形作業に関するレポートも顧客へ報告する。

キングジム、4つのカメラで360度録画できる 会議用レコーダーを発売、Web 会議用としても活用可能

株式会社キングジム(東京都千代田区)は、カメラ付き会議用レコーダー「ミーティングレコーダー」を4月19日より発売。(4月9日)

会議で議事録を作成する際、書くことに気を取られて会議に集中できなかつたり、ボイスレコーダーで録音しても、後で聞き直すと誰の発言かわからなかつたりすることがある。ミーティングレコーダーは、そういった議事録を書く際の不満を解決するために開発された。

ミーティングレコーダーは、液晶画面やカメラ・マイク・スピーカーなどを内蔵し、録画・録音・再生のほか Web カメラ

としても使用できるマルチな一台。



ミーティングレコーダー (キングジム 資料)

録画機能について:ミーティングレコーダーは、4つのカメラ(VGA画質 CMOS センサー x4)を搭載し、「4分割モード」「シングルモード」「オートモード」の3つの録画モードがある。

4分割モードでは、4つのカメラで撮影した映像を、4分割表示(周囲360度)を録画することができる。また、シングルモードでは、一つのカメラで撮影した映像のみを表示するように録画できる。さらに、オートモードでは、4つのカメラで順番に撮影(3秒毎)し、表示も同じく順番に再生するように録画できる。録画時間の目安は、4GBのSDHDカード(同梱)の場合、約2時間となっている。

なお、キングジムでは、本体から半径50cm以上、5m以内の使用を奨励している。

録音機能について:360度の音を拾う無指向性マイクを搭載。ボイスレコーダーとして使用できる。録音時間の目安は、4GBのSDHDカード(同梱)の場合、約25時間となっている。

再生機能について:録画録音したファイルは、本体でもパソコンでも再生できる。本体で再生の場合は、内蔵の液晶画面(2.4インチ、TFTカラー液晶、QVGA)とスピーカーで録画録音の再生ができる。一方、パソコンで再生の場合、付属のUSBケーブルでパソコンと接続、「Windows Media Player」などを使い再生ができる。

Webカメラ機能について:従来のカメラでは視野角が狭いため向いていなかった複数人でのWeb会議もミーティングレコーダーを使うと周囲360度を撮影できる。ただし、Webカメラとして使用している際は、録画・録音は行えない。



Web カメラ機能 (キングジム 資料)

スピーカー機能について:パソコンに接続してスピーカーとして使用できる。プレゼンテーションの際にも活用ができる。

本体色はホワイト。寸法は、約 W77mm x D77 x H220mm(電源オン時)。約 W77mm x D77 x H205mm(電源オフ時)。質量は、約 485g(バックアップ電池含む)。

本体価格は、33,000 円(税別)。同社によると、初年度販売目標数量は、2 万台。

ビジネス動向-海外

ポリコム、Microsoft Lync 対応製品のポートフォリオをさらに拡大

ポリコム社(米、カリフォルニア州)は、「Microsoft Lync 2013」との広範囲な相互運用性を実現したと発表。(米:3月18日、日本:4月10日)

今回の発表には、新たに認定を取得したポリコムの音声ソリューションや「Polycom RealPresence プラットフォーム」の新しい拡張ソフトウェアが含まれる。Lync 2010 との相互運用が可能なポリコムが提供するソリューションはすでに40にのぼるが、今回の発表により、これをさらに拡大し、両社の広範なパートナーシップをさらに強化する。

Lync Server 2013 認証対応状況は以下の通り。

(1)「Polycom VVX Business Media Phone」:Polycom VVX 500 と Polycom VVX 600 モデルは Lync Server 2013 認証済み(ネイティブインテグレーション)。Polycom VVX 300 と Polycom VVX 400 モデルは、2013 年第2四半期予定。

(2)「Polycom RMX Series」「Collaboration Server 800s」「Polycom DMA」(Lync 2013 相互接続の要になるシステム。):ソフトウェア拡張により Lync 2013 対応(6月予定)。ポ

リコム端末と Lync 端末間で H.264 AVC/SVC に対応する。

(3)「Polycom RealPresence Content Sharing Suite」:Lync 2013 に対応し、モバイルも含めポリコム端末と Lync 端末間でコンテンツ共有が可能。

(4) 新スケジュールリング機能:「Microsoft Outlook」を核としてビデオ会議のスケジュールリング機能を提供。会議のセットアップやマネージメントを司る。

なお、ポリコムは、今回の発表に先立ち、Premier Support for Lync Partners(PSLP)である Senti 社を3月1日付けで買収している。Lync とポリコム ソリューションとの統合をさらに加速する。

Vidyo 社、Internet2 参加大学や K-12 学校へ低コストテレビ会議サービスを提供

Vidyo 社と Internet2 は、Vidyo によるテレビ会議サービス提供でパートナーシップを締結したと発表。(4月18日)

今回のパートナーシップにより、Vidyo のテレビ会議サービス(低利用料金)を、Internet2 NET+サービスの一部として提供する。サービスを利用できる組織は、Internet2 に参加している大学のほか、全米の数千にもおよぶ K-12 に含まれる幼稚園から高等学校も対象となっている。ただし、K-12 学校については、Internet2 NET+リージョナルパートナーを通してのサービス提供となる。

サービスの提供は ID Solutions 社が行う。

Talkpoint 社、ストリーミングとテレビ会議サービスの統合において、Blue Jeans Network 社とパートナーシップ

Talkpoint 社は、ストリーミングとテレビ会議サービスの統合について、Blue Jeans Network 社とパートナーシップ締結を発表。(4月11日)

Talkpoint 社が提供するクラウド型ストリーミング技術と、Blue Jeans Network 社のクラウド型テレビ会議サービスを組み合わせて、テレビ会議を使ったインタラクティブなウェブキャストイベント利用に対応する。

仕組みとしては、Blue Jeans Network 社のブリッジを経由して TalkPoint 社のシステムに接続することでコンテンツの取り込みや配信などの行い形。複数のプレゼンター（ロケーションも別）やさまざまなコンテンツ（Web カメラ、テレビ会議専用機、Skype など）に対応し、テレビ会議の映像を数千の視聴者に配信することも可能だ。加えて、収録されたコンテンツは自動アーカイブすることも可能。

Vidyo 社、171 万ドル増資、資本金は 1 億 1600 万ドルへ。グローバル市場シェア拡大を目指す

Vidyo 社は、171 万ドルの増資を実施した。（4 月 22 日）
今回の増資により、2005 年の設立以来、資本金は 1 億 1600 万ドルとなった。これまでの出資者に加え、Triangle Peak Partners 社など複数の新たな出資者も得た。

2012 年、Vidyo 社の売上 (billings growth) は、前年度より 68% 増を記録。そのなかで、医療や教育分野では 77% 増、企業向けでは、67% 増の伸びを示した。また 27 の特許を取得しており、57 の特許申請中となっている。

今回の増資は、販売の強化とグローバル市場シェアの拡大、ビデオ会議開発 SDK「VidyoWorks プラットフォーム」の展開強化に活用する。

セミナー・展示会情報

< 国内 >

会議の効率化を実現！『ConforMeeting 無料体験セミナー』定期開催

日程：5 月 22 日（水）、29 日（水）、6 月の日程もあり。
※全ての日程で 13:30-14:30、15:30-16:30 の 2 回開催
会場：NEC 情報システムズ 本社（東京都港区）
主催：日本電気株式会社、株式会社 NEC 情報システムズ
詳細・申込 <http://www.nec-nis.co.jp/topics/event/conformeeeting/seminar.html>

[ポリコム主催・体験会] Polycom Day ~ 最新ソリューションを定期的にご紹介

日時：5 月 17 日（金）15:30-16:30（開場：15:15）
会場：ポリコムジャパン セミナールーム
主催：ポリコムジャパン株式会社（東京都千代田区）
詳細・申込：
<http://www.polycom.co.jp/company/events/index.html>
*2013 年毎月開催。*申込は、5 月 15 日（17 時まで）まで。

RADVISION VoLTE/IMS and RCS セミナーのご案内

日時：5 月 21 日（火）10:00~15:30
会場：日本アバイア・セミナールーム（東京都港区）
主催：日本アバイア株式会社
詳細・申込：
<http://www.radvision.jp/contents/event/201305/radvisionvolteims-and-rs.html>
*申込は、5 月 15 日まで。

成果を生み出す新しい営業会議のカチ！
ソフトブレン / ブイキューブ共催セミナー

日時：5 月 23 日（木）14:00-16:30（受付開始：13:45）
会場：八重洲サンスカイルーム（東京都中央区）
主催：ソフトブレン株式会社、株式会社ブイキューブ
詳細・申込：http://www.softbrain.co.jp/seminar/other/tokyo_130523.html

【"見える"カレッジセミナー in 大阪】 Web 会議の活用とメリットとは ~ テレビ会議 (Polycom) と使う、スマートフォン・タブレットで使う ~

日時：5 月 23 日（木）14:00-16:00（受付：13:30~）
会場：TKP 大阪梅田ビジネスセンター（大阪市福島区）
主催：株式会社ブイキューブ
詳細・申込：<https://vcube.smtkg.jp/public/seminar/view/82>

iPad でも使える！Web 会議「アイシーキューブ」紹介・体験会

日時：5 月 23 日 16:00 ~ 17:30（受付：15:30~）
会場：キヤノンソフトウェア 本社（東京都品川区）
主催：キヤノンソフトウェア株式会社
詳細・申込：<http://www.canon-soft.co.jp/seminar/details/201304151815.html>

「実践ビジュアルコミュニケーションセミナー2013」
~ テレビ会議システムの「今」と「これから」をご紹介 ~

日時：6 月 7 日（金）13:25-17:15（開場：13:00）
会場：TKP 赤坂ツインタワーカンファレンスセンター（東京都港区）
主催：VTV ジャパン株式会社
詳細・申込：<http://www.vtv.co.jp/seminar/1306vtv/index.html>

国内その他：<http://cnar.jp/cna/event-j.html>

海外その他：<http://cnar.jp/cna/event-r.html>

* イベント情報は、情報が入り次第、随時掲載しています。

CNA Report Japan アーカイブ電子ブック版

> 2003 年-2012 年 http://www.catalog-square.co.jp/cna_report/

> 2013 年 http://www.catalog-square.co.jp/cna_report/ebook/

電子ブック制作：カタログスクウェア株式会社

<http://www.catalog-square.co.jp>

編集後記

今号もお読みいただきましてありがとうございます。
今日から教育ITソリューションEXPO（東京ビックサイト）。遠隔会議関連企業も出展されているので明日か明後日見学します。
次号もよろしくお願ひ致します。橋本啓介